

生田緑地マネジメント会議ニュースレター

令和3年度 第4回運営会議が開催されました



令和4年2月18日(金)18:00~20:10

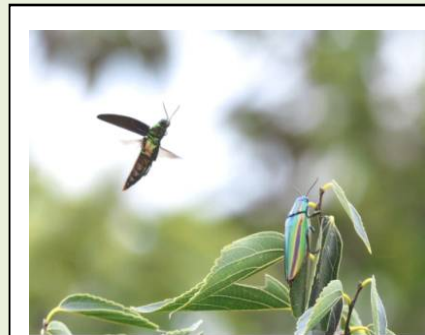
生田緑地東口ビジターセンターにて本年度の第4回運営会議が開催されました。コロナ禍の対策としてオンライン会議を併用しての開催を継続しています。

参加は22会員、対面会議出席者は23名、オンライン出席者5名、委任状2名、事務局6名 計30名での会議となりました。今回より、従来型の口の字形式にテーブルを配置しました。

■承認事項「生田緑地写真展入選者選考結果 及び 生田緑地写真展開催について」(事務局)

・応募総点数138点。会員の投票による入賞作品の選考を実施。上位12点が入選となりました。入賞作品を使用したオリジナルカレンダーとトランプカードが制作され入賞作品12点に、佳作23点には同トランプカードが授与されます。3/27開催の全体会にて表彰式を行います。もみじ会の皆様の製作協力により、竹のスタードームを製作。中央広場に設置し、生田緑地写真展を開催します。展示期間:3月20日~27日

以上につきまして満場一致で承認されました。



◆報告・共有事項

1.令和3年度 全体会議について(事務局)

・3/27(日)宙と緑の科学館にて開催。時間は13:30-15:30を予定しています。

第1部:「生田緑地のナラ枯れ対策についての提言書」川崎市への引き渡しと1年間の活動振り返りを行います。

第2部:写真展の表彰式と日本自然保護協会理事長 亀山章氏による講演会を予定しています。

2.「生田緑地付近に植栽可能な植物を選定する為のガイドライン」について(生田緑地整備事務所)

・12月23日開催の第3回運営会議で報告したガイドラインについて2/17までご意見を募集したところ3件のご意見がありました。今後については意見の内容を自然会議で協議し、改めて運営会議に諮ります。来年度の運営会議で合意形成を進め、全体会で承認いただけるように丁寧に進めてまいります。

3.向の岡工業高校との協働作業 戸隠不動口看板設置について(向ヶ丘遊園のみどりを守り市民憩いの場を求める会 松岡様)

・生田緑地の出入り口として30か所が対象地となります。昨年度は長者穴口、今年度は戸隠不動口に看板が設置されました。来年度はどこにするか?皆様のご意見をお待ちしております。

4-1.ばら苑入口現地視察会について(川崎市みどりの保全整備課)

・向ヶ丘遊園跡地再開発にあたり、ばら苑へのアクセス路について、管理用車両が通行できる園路設置検討中。
1月14日に現地で伐採木の視察会を開催。三つのご意見「①三叉路付近にランドマークとなるシラカシの保護。②希少種の保護(サワフタギの保護、キンランなどの希少種の移植保護)。③樹林地として残すのか草地として残すのか検討してほしい。」については、①シラカシは残すが盛り土で深植状態となるため通期透水性を確保する。②移植対象の希少種をマーキングし移植する。表土 30cmはすき取り盛り土・切土法面の客土として再使用する。③整備後にモニタリングを実施し検討してゆく。としています。今後のスケジュールとしては、令和4年・5年度にアクセス路整備を行い、5年度末に完成、令和6年度にモニタリング調査と植生管理計画の検討を開始します。

4-2.第3期総合計画実行計画案について(川崎市みどりの保全整備課・今井所長による報告)

議会での審議を踏まえ3月末に策定・公表されます。生田緑地に関しては「施策 3-3-2 魅力ある公園緑地等の整備」にあるように、計画期間の主な取り組みとして、・「生田緑地ビジョン」の改定を含む「生田緑地ビジョン」に基づく取組の推進、「生田緑地整備の考え方」に基づく取組の推進、ばら苑の管理運営整備、緑化フェアと連携した取り組みの推進 などがあげられています。詳しくは HP のほうをご覧ください。

5.ふりかえりプロジェクト会議開催報告(倉本リーダー)

常にふりかえる習慣を定着させることが大切で、ナラ枯れについて考えてみたり、多摩市の中央公園を訪ねて考えるなど活動を4回行いました。これらを通じて、①コア会議は、実際に活動している様々な活動団体のところに出かけ、語らうことを通じて学ぶことが大切。②ナラ枯れプロジェクトについては、自然会議との関係性の中で活動団体によって考え方も異なることから、次のふりかえりプロジェクトで考えてゆくことになりました。

6.多摩区制50周年記念事業について(飯室谷町会和(かのう)様・多摩区役所企画課)

・来年度、多摩区制50周年記念事業として地域共生社会の実現に向けて、生田緑地各施設を舞台に「生田緑地からたどる地域福祉の源流～多摩区から発信する地域共生社会～」と題して全7回の講座(各回 500 円 小学校4年生以上30名)を開催します。3 館のほか、戸隠不動尊、里山保全活動などを舞台に生田緑地の魅力を探り、その可能性を学ぶ場とします。実施主体:田園調布学園大学 和(かのう)研究室・福祉デザイン Lab 日程は調整中。

7.日本民家園 プロジェクションマッピングの開催について(観光プロモーション推進課)

2/23～3/31 休園日除く 30 日間 17:30～21:30(最終入場 21:00)

8.3月26日 指定管理者主催「生田緑地スプリングミュージアム」開催について(指定管理者)

中止のサマーミュージアム代替イベントとして開催。ワークショップ・キッチンカー・コンサート会場を設置します。

その他①川崎市向ヶ丘遊園都市計画にて小田急再開発に伴い生田緑地の都市計画区域の形状が大きく変わりました。(向ヶ丘遊園のみどりを守り市民憩いの場を求める会 松岡様)

②木道園路について、木道の破損ダメージが大きいこと、危険防止の観点からランニング禁止の願いを対象エリアに限定して設置させていただきます。あくまでお願いですが、ご理解ご協力のほどお願いします。(指定管理者)

③北海道恵庭市で開催される全国都市緑化フェア(開催期間 6/25～7/24)の一環として、生田緑地をイメージした「華やかガーデン」のガーデニングが展示されます。枳形山、奥の池、ばら苑、メタセコイアの林等をイメージした展示となります。市制 100 周年の節目を迎える令和 6(2024)年度の全国都市緑化かわさきフェアの開催が正式に決定いたしました。今後は定期的に情報提供と皆様との連携が図れるように致します。(生田緑地整備事務所)

④ナラ枯れについての提言書全体会を受けて、正式に提言することになっております。

被害確認数今年度 697 本、過去 3 か年累計で 1068 本、うち枯れ木は 398 本。令和4年度は市費、国費にて安全面の観点で枯損木の処理を中心に進めます。国費の様々な条件について現在内容を整理中。(生田緑地整備事務所)

～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～

豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき 緑がつなげる持続可能な生田緑地の実現

●お問い合わせ先:生田緑地マネジメント会議事務局

生田緑地共同事業体 東口ビル2階 TEL044-933-2300

川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL044-934-8577